

新冠町郷土資料館事業 ふるさと・再発見講座

アイヌの交易品を知ろう～

「トンボ玉製作体験」

江戸時代、判官館の海岸は「新冠会所」というアイヌ民族と和人の交易地でした。交易品のひとつに「トンボ玉」があります。ガラスでトンボ玉をつくりながら、判官館のアイヌ文化に親しみましょう。

☆期 日 令和5年8月6日(日) 9:30～12:00

☆場 所 ポロシリ生活館(判官館森林公園内)

☆内 容

◆江戸時代におけるアイヌ文化を知る～

新冠会所、和人とアイヌ民族の交易品を説明

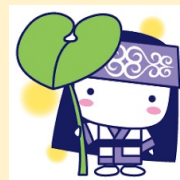
◆トンボ玉製作体験～

1人 5～6コのガラス玉をつくり、キーホルダーに仕上げる

*指導：新冠町郷土資料館 学芸員

☆参加対象 新冠町在住の成人 20名程度

*興味のある児童～生徒も参加可(ただし小学校4年生以上)



☆参加料 1人200円

☆参加申込・問合せ

参加希望の方は、令和5年7月27日(木)まで新冠町郷土資料館へ電話申込して下さい。(TEL:0146-47-2694)

【トンボ玉とは】

トンボの目玉のように美しいガラス玉のことをいいます。昔のアイヌ民族は、交易によってこのガラス玉を手に入れ、「タマサイ」というネックレスとつくりました。今回はいくつかのトンボ玉をつくり、「キーホルダー」に仕上げてみます。



主催：新冠町教育委員会